

2026年 3月期

決算説明資料

水をつなぐ

SANEI 株式会社

証券コード：6230

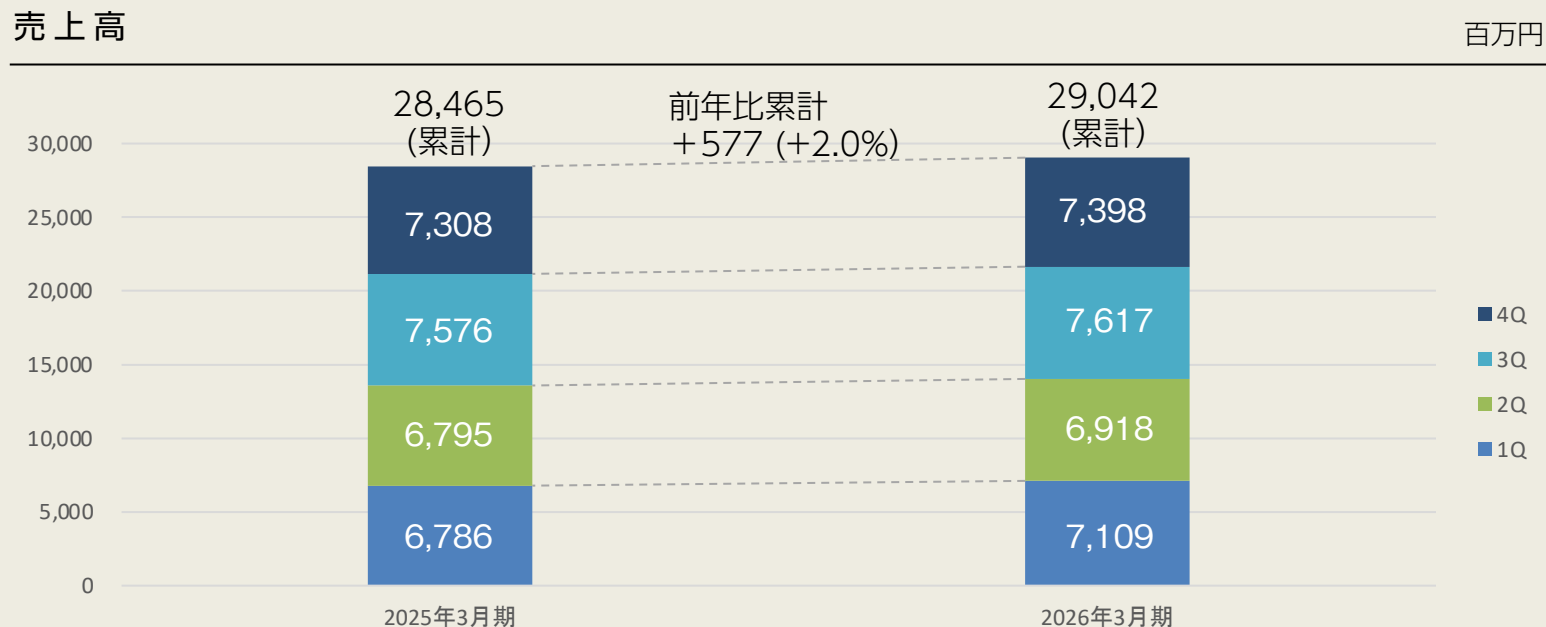
(東京証券取引所 スタンダード市場)

## INDEX

1. 業績サマリー
2. TOPICS
3. 今後の取組み
4. ESG活動について
5. 事業概要
6. 企業情報



## 第4四半期は前年比増収も予算は未達



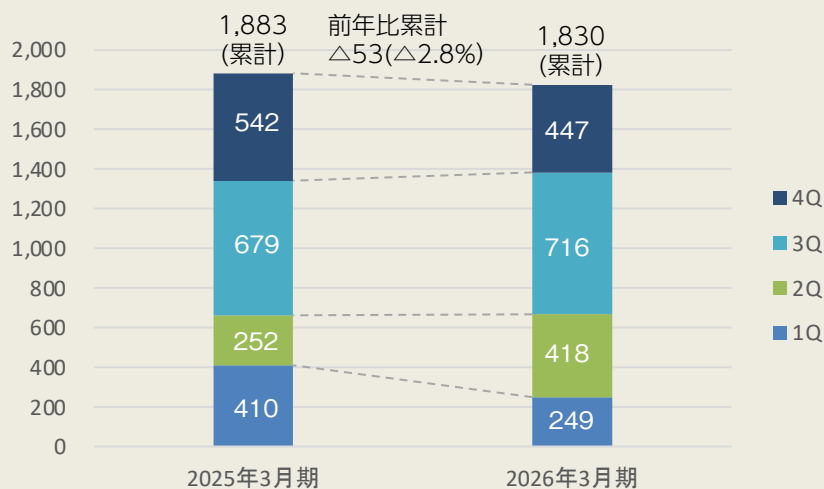
第4四半期の売上高は73億9,800万円となり、前年同期比で9,000万円の増収となりました。その結果、売上高は290億4,200万円の累計となりました。前年比累計プラス5億7,700万円、プラス2.0パーセントです。

一方、売上高の予算300億円に対しては9億5,800万円の未達となりました。背景として、建材価格の高騰や金利上昇などが住宅購入者の慎重な姿勢を招き、2025年4月に施行された省エネ法および建築基準法改正の影響による新設住宅着工件数の減少も影響し、売上回復に至りませんでした。

## 第4四半期は前年比減益

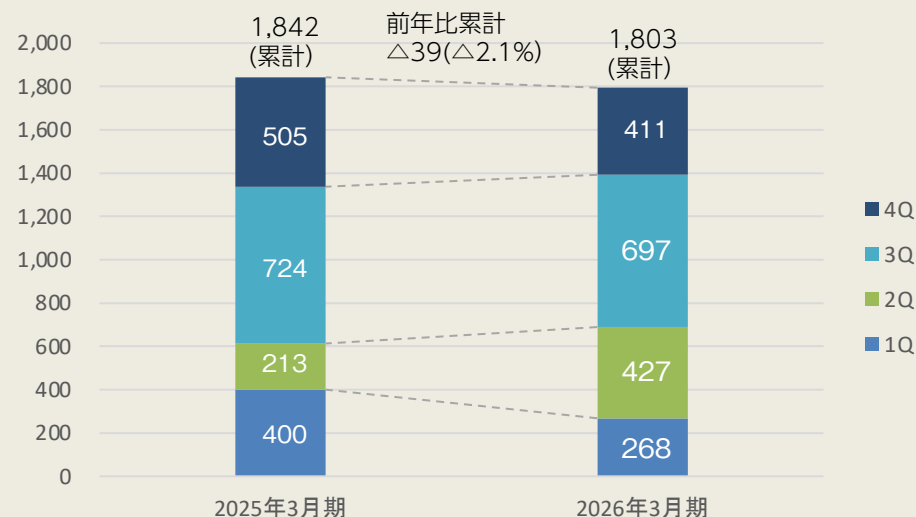
## 営業利益

百万円



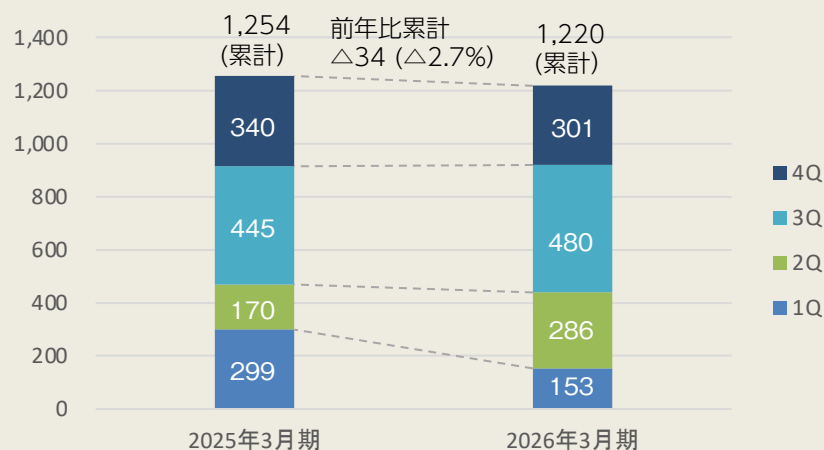
## 経常利益

百万円



## 親会社株主に帰属する当期純利益

百万円



営業利益は18億3,000万円の累計となりました。前年比累計でマイナス5,300万円、マイナス2.8パーセントとなりました。

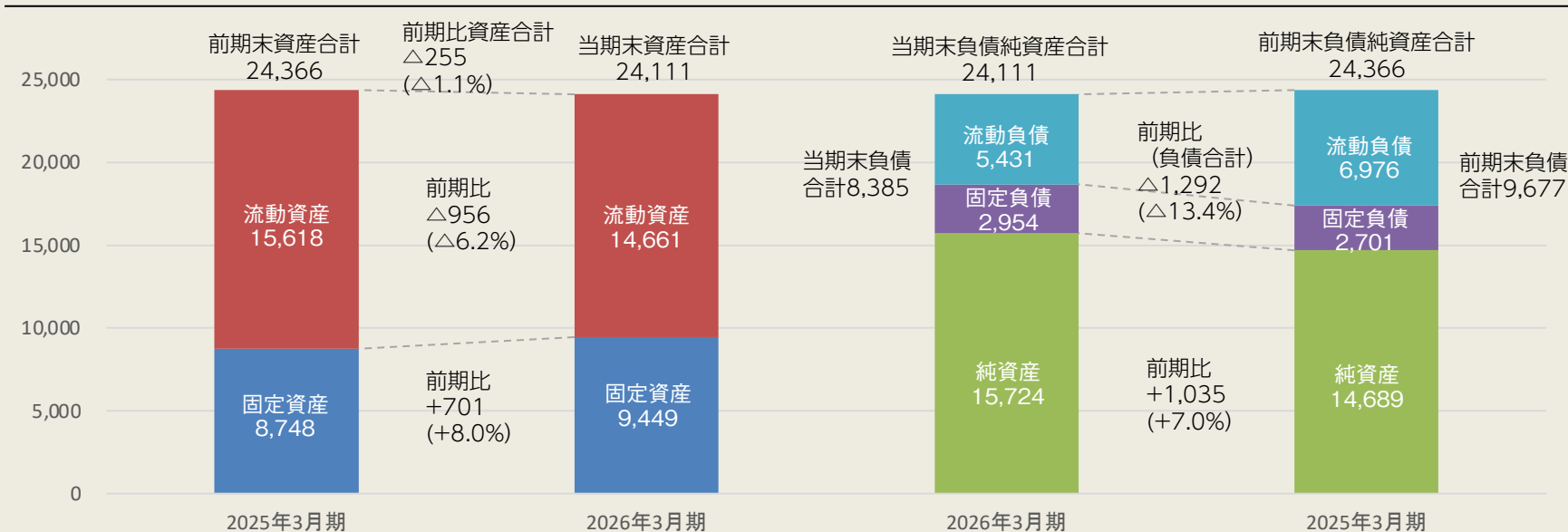
親会社株主に帰属する当期純利益は12億2,000万円の累計となりました。前年比累計でマイナス3,400万円、マイナス2.7パーセントとなりました。

銅やエネルギー価格の高騰により原材料価格が上昇し、収益を圧迫したことが減益の主な要因です。今後はサプライチェーン各社と連携しながら価格改定を実施し、高付加価値製品の販売強化を進めて、収益力の向上と利益確保に努めます。

## 貸借対照表 (B/S)

## 貸借対照表

百万円

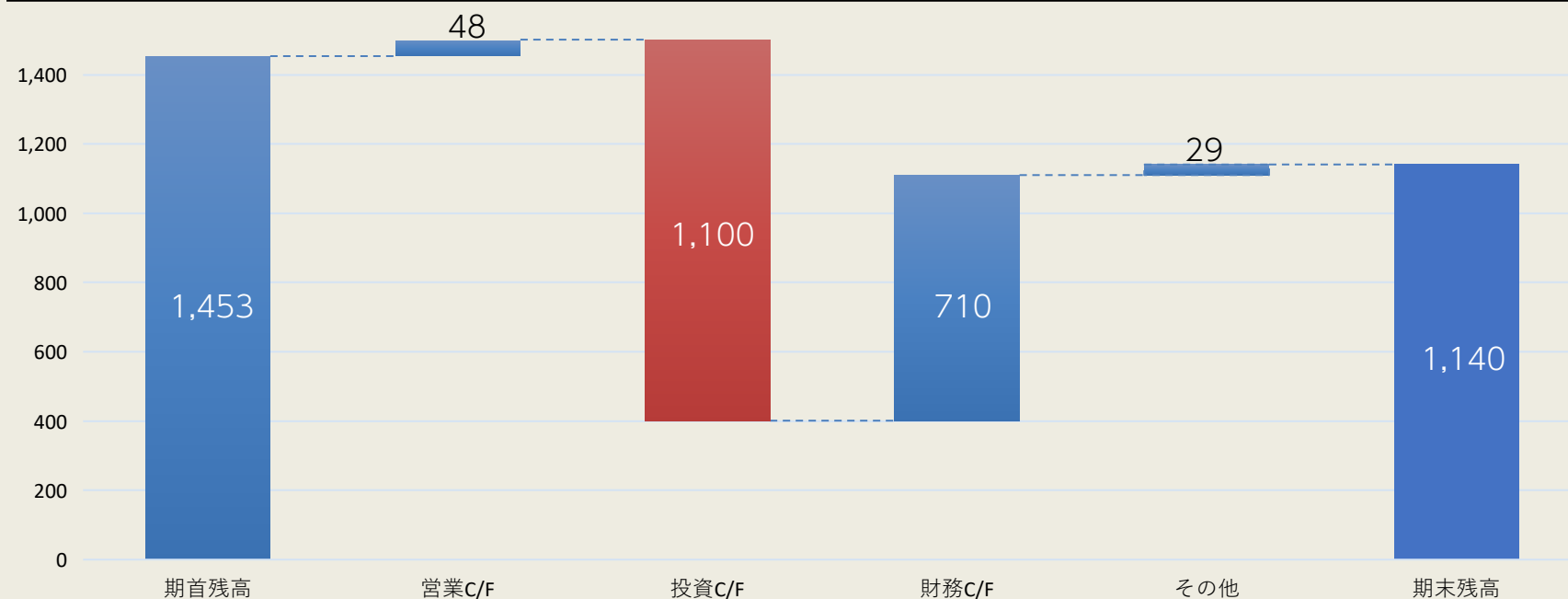


- 資産合計は241億1,100万円、前期比でマイナス2億5,500万円、マイナス1.1%となりました。
- 流動資産は146億6,100万円、固定資産は94億4,900万円です。流動資産の減少要因は現金及び預金が3億900万円、売上債権が11億5,200万円それぞれ減少した一方で、棚卸資産が5億6,500万円増加したことです。
- 固定資産は前期末に比べ7億円増加しました。これは主に工場の建て替えにより、建物及び構築物が3億6,400万円増加したためです。
- 負債合計は83億8,500万円、前期比でマイナス12億9,200万円、マイナス13.4%となりました。負債の内訳では仕入債務が21億9,600万円減少した一方で、借入金が9億9,400万円増加しました。
- 純資産は157億2,400万円、前期比でプラス10億3,500万円、プラス7.0%となりました。

## キャッシュフロー

## キャッシュフロー

百万円



- ・ 営業キャッシュ・フロー：前年同期比で大幅に減少しました。主な要因は、仕入支払における支払手形および電子記録債務の利用を原則廃止し、現金振込へ変更したことにより、仕入債務が21億9,600万円減少したためです。
- ・ 投資キャッシュ・フロー：11億円の支出となりました。主な要因は、工場建て替えなどの設備投資によるものです。
- ・ 財務キャッシュ・フロー：借入金により9億9,400万円増加した一方で、配当金として2億8,300万円を支払いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、期首残高に比べ3億1,200万円減少し、11億4,000万円となりました。

## 「株式会社アクアム」と資本業務提携を締結いたしました

SANEI × AQUAM

空気から水を生成する技術を活用した空気製水機の開発・製造を手掛ける「株式会社アクアム」の発行済株式の5%を取得し、資本業務提携を締結いたしました。



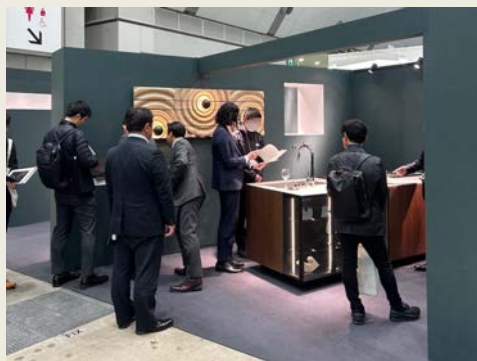
国際ホテルレストランショー（東京ビッグサイト）に出展しました

当社が有する水まわり製品の設計・製造・販売に関するノウハウと、「アクアム」が有する空気製水技術を組み合わせることにより、水資源問題や環境負荷低減といった社会課題への対応力をさらに高めるとともに、新たな製品・事業機会の創出を目指します。

協業では、空気製水技術と水まわり製品を融合した新製品・新サービスの共同企画を行い、公共施設や商業施設など非住宅分野を中心とした市場開拓に取り組みます。環境配慮型・サステナブル製品の開発と普及を通じて、オフグリッドの実現を目指します。

## 「国際ホテルレストランショー」 「建築・建材展」に出展しました

デザイン性が高く評価されている「VERSE」「sanei」ブランドをはじめ、「WAILEA」のキッチン・洗面製品、「FLUSSO」のバスタブ、さらに「アクアム」の空気製水機を展示し、当社が提案する新しい水まわり空間を体感いただきました。建築・建材展では、当社グループ会社である水生活製作所と共同出展いたしました。



国際ホテルレストランショー  
会期：2026年2月17日～20日  
会場：東京ビッグサイト

建築・建材展  
会期：2026年3月3日～6日  
会場：東京ビッグサイト



特設サイト  
<https://www.sanei.ltd/library/2026exhibition/>

## 関西テレビ放送主催の「ウェルチルフエスタ」に出展しました

予洗い水栓「プレパシュ+」とウルトラファインバブルのシャワーヘッドを体験いただきました。



会場ではアナウンサーやタレントによるトークショーも開催され、多くの来場者で賑わいました。ブースでは、隣接する味の素AGFさまのご協力により、提供されたコーヒーカップを当社の「プレパシュ+」で「さっと」水洗いしていただく体験を実施し、「便利」「自宅にも設置したい」との好評をいただきました。また、ウルトラファインバブル搭載シャワーヘッドの通水展示も行い、実際のシャワーを体感していただきました。



公式サイト  
<https://wellchill.jp/wellchillfesta>

会期：2026年4月18日・19日

会場：関西テレビ本社

## 「OSAKA DESIGN WEEK」に出展します

「OSAKA DESIGN WEEK」は日伊国交樹立160周年、大阪・ミラノ姉妹都市提携45周年を機に、建築・プロダクト・食をはじめ、ひろくライフスタイルに根ざした「デザイン」をテーマに開催されます。



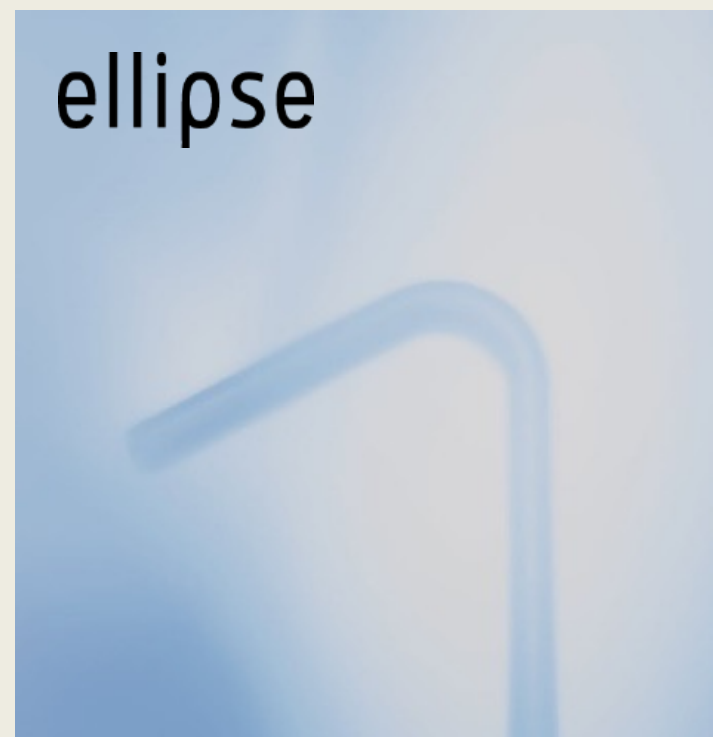
開催期間中はメイン展示会場の「OSAKA SALONE 2026」をはじめ、大阪市内各所で街中展示「OSAKA FUORI SALONE」が行われます。当社は「WAILEA」として出展し、水栓ブランド「VERSE」の新製品お披露目を予定しております。



会期：2026年9月23日ー10月4日

メイン展示会場：マイドーム大阪

公式サイト  
<https://www.osakadesignweek.com/>



## 「VERSE」が「JAXURY AWARD 2026」に選出されました

「VERSE」ブランドが「JAXURY AWARD 2026 ライフスタイル部門」に選出され、講談社が編集・発行する「FRaU」の特集号に掲載されました。



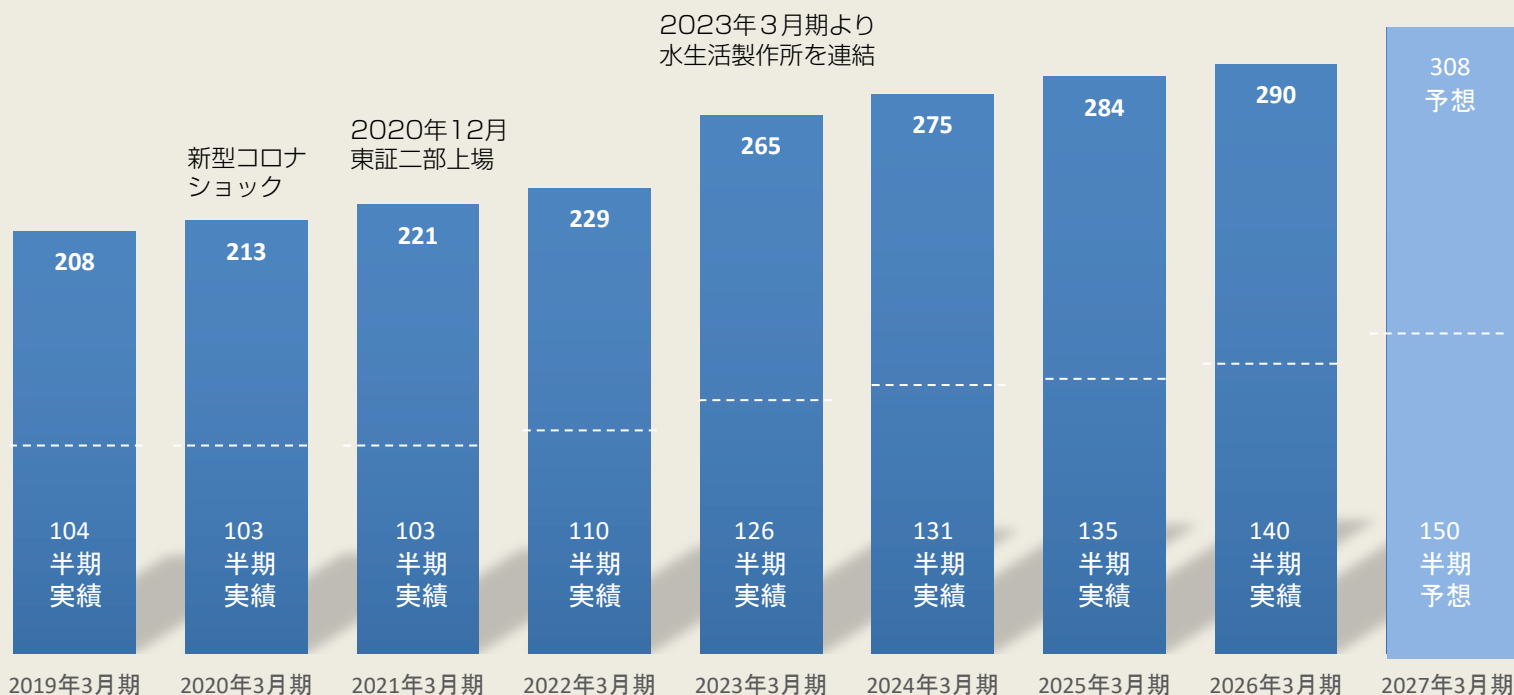
公式サイト  
<https://jaxury.media/ja>

「JAXURYアワード」(Japan's Authentic Luxury) は慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科オーセンティック・ラクシュアリーラボでの研究をもとに、各界から集まったメンバーによる一般社団法人JAXURY委員会が選出、講談社が文化庁の協力を得てメディアとして発信・展開する、「産官学メディア」総合プロジェクトです。

着実に成長

売上推移 (連結)

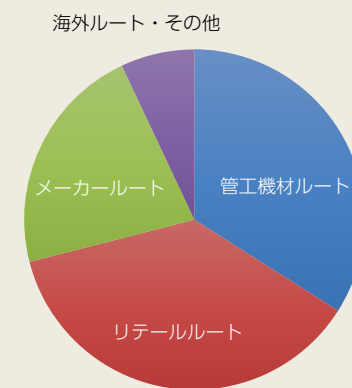
億円



2027年3月期の売上高は308億円、今期比18億円増を見込んでいます。営業利益は20億円、今期比1億7,000万円増を見込んでいます。工場の自動化をはじめとした新設備の導入や海外事業の拡大、高付加価値製品の強化などを積極的に推進し、さらなる成長を目指してまいります。

## 販売ルートと事業展開

	主な販売先	今後の展開
管工機材ルート	商社・卸業者	(1) ホテル・飲食店などの設計会社や施主へ高機能・高付加価値製品の提案 (2) パワービルダー・ハウスメーカー・工務店などへ水まわり空間のトータル提案 (3) ウルトラファインバブル搭載製品など新製品の販売強化
リテールルート	量販店 ネット販売業者	(1) ホームセンター向けプロユース領域の拡大と売場の改善 (2) 家電量販店、総合スーパーなどへ販路拡大、水まわり・リフォーム製品などの提案 (3) インターネット販売業者などへ健康・理美容の製品の販売
メーカールート	住設機器メーカー	(1) 中・高級グレード製品の販売強化 (2) バス・洗面・キッチンなど、住宅設備機器メーカーとの協業による水まわり空間の提案 (3) 非住宅向け新規販売強化
海外ルート	海外市場	(1) 北米：現地代理店との提携、施工会社の新規開拓 (2) 中国：非住宅採用に向けて設計事務所やディベロッパーへのアプローチ (3) インドネシア：価格競争が厳しくなっており、商流見直しを行う (4) ベトナム：日系ディベロッパーと協力し、新規市場開拓 (5) 韓国：代理店と共に設計事務所へ提案強化 (6) 台湾：新規代理店にアプローチ

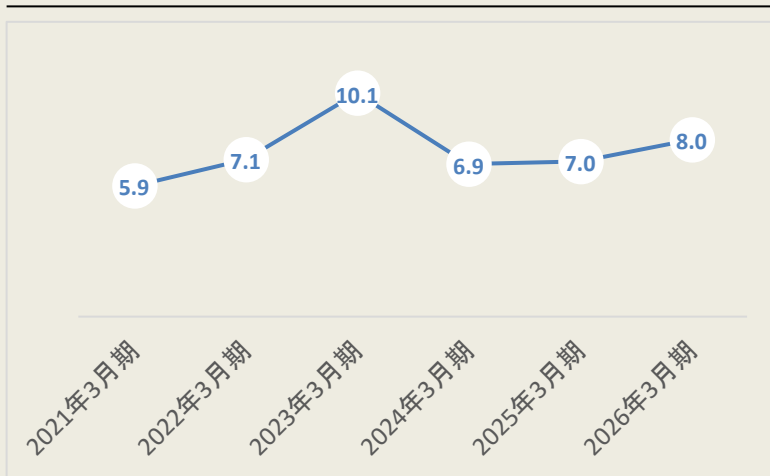


ルート別売上構成比

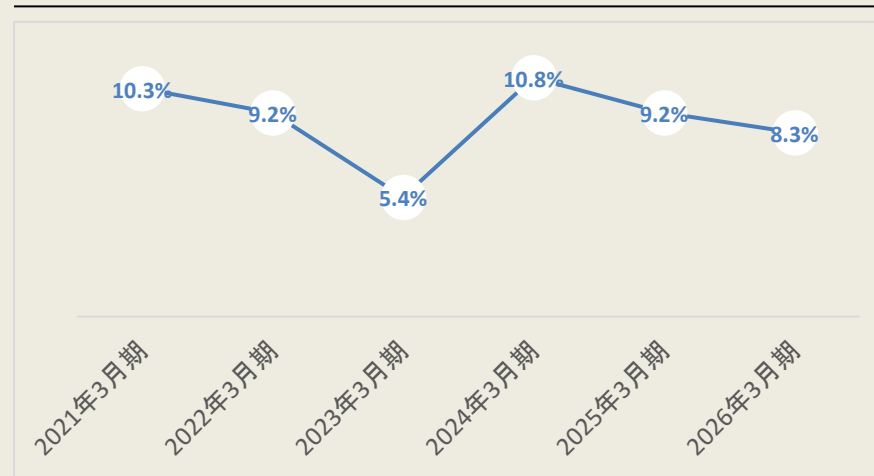
当社の強みは、各販売ルートのバランスが取れている点にあります。新設住宅着工戸数が減少する局面においても、非住宅市場やリフォーム市場、ECサイトでの販売などにより、安定した売上を確保しております。一方、国内での急速な市場拡大が見込みにくい状況にあり、海外ルートにおける市場開拓を重要課題として取り組んでまいります。

## 継続的な株主価値向上に向けて

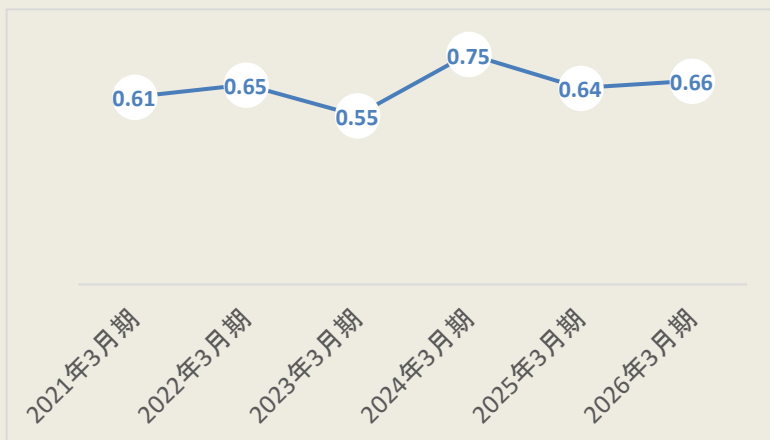
PER（株価収益率＝株単価÷1株あたりの純利益）倍



ROE（自己資本利益率＝純利益÷期首期末平均株主資本）%



PBR（株価純資産倍率＝PER×ROE）倍



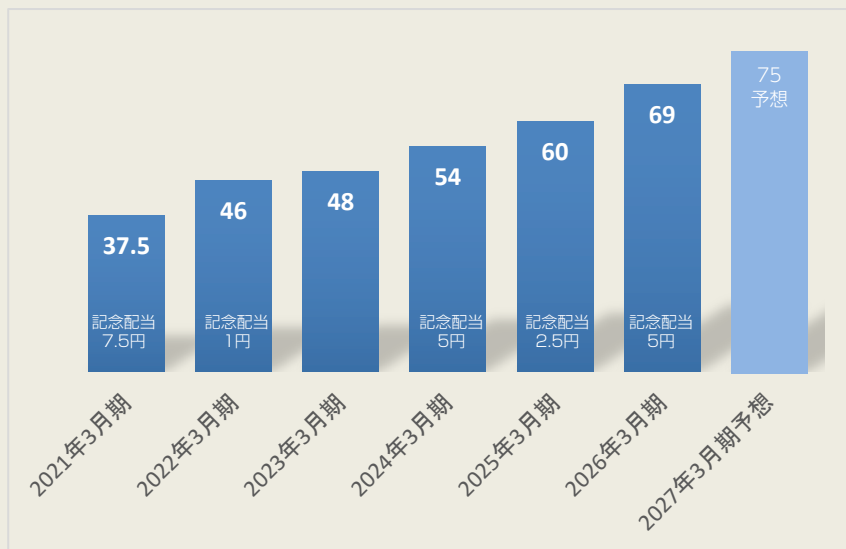
PERは2026年3月期で8.0倍となりました。株価の上昇がPERの上昇要因となりました。ROEは8.3パーセントとなりました。円安や銅価格の急激な高騰により原価が上昇し、利益率の低下がROEの低下要因となりました。結果PBRは0.66倍となりました。

引き続きPBR1倍以上の実現に向けて高付加価値製品や新製品の販売強化を進めるとともに、業務効率化とコスト削減を進め、価格改定などを通じて収益力の向上に努めていきます。

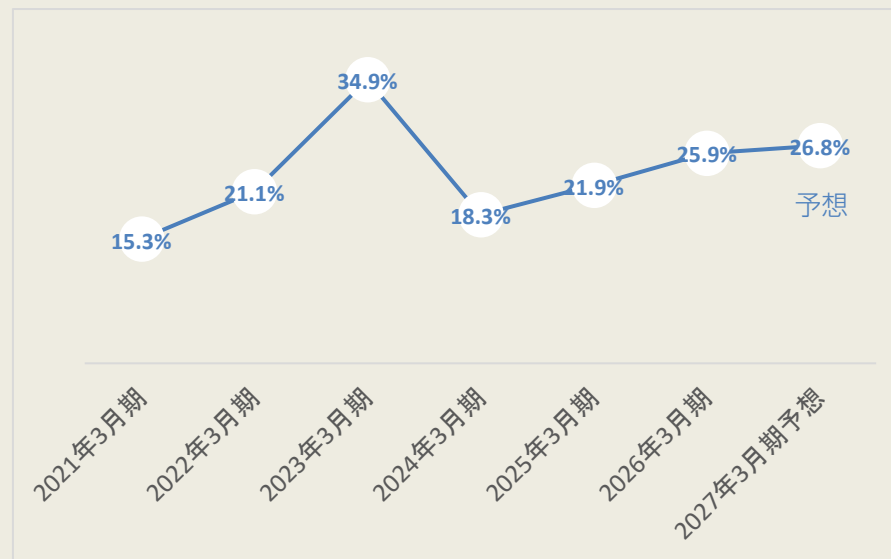
2024年10月1日付で1株につき2株の株式分割を実施しております。株価及び1株当たりの数値は全て分割後を基準に換算しています。

## 年間配当金と配当性向

年間配当金（円）



配当性向（1株当たりの配当額 ÷ 1株当たりの当期純利益 × 100）%



当社は2025年12月に上場5周年を迎えました。これもひとえに株主のみなさまのご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。これを記念し、上場5周年記念配当を実施しました。2026年3月期期末の配当金については、1株当たり普通配当32円（2025年5月2日公表）に記念配当5円を加え、1株当たり37円へ上方修正しています。これにより、配当性向は25.9%となりました。2027年3月期の配当予想については、第2四半期37円、期末38円、年間75円を予定しています。

※当社は、将来にわたり安定的な株主還元を実現するため、「累進配当方針」の導入を、2024年6月25日に公表しました。

2024年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。株価及び1株当たりの数値は全て分割後を基準に換算しています。

## Co-Innovation Valleyに参画

岐阜県飛騨市が推進する地域共創を目的とした「Co-Innovation Valley プロジェクト」に賛同し実現に向けて伴走しています。



「Co-Innovation Valley プロジェクト」は、2027年開業予定の共創拠点「soranotani」（設計：藤本壮介氏）を中心に開発が進められている地域共創プロジェクトです。同拠点には、商業施設や温浴施設、子ども向け遊び場などが整備され、地域内外の交流促進と活性化を目指しています。

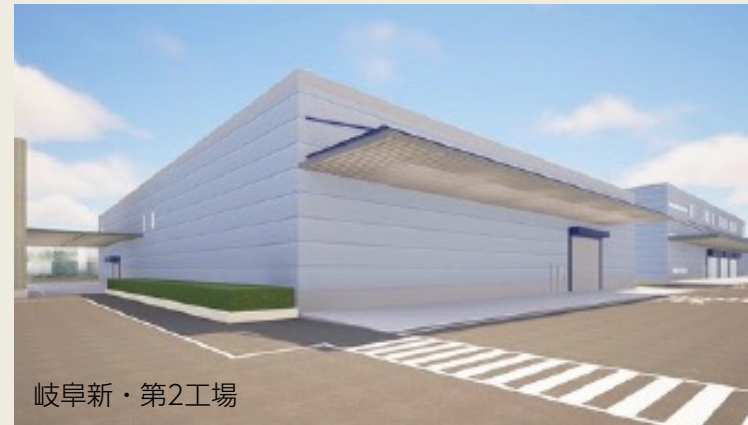
また、本プロジェクトには、2026年4月開学予定の「コー・イノベーション大学（CoIU）」も含まれており、当社は設立を支援する飛騨古川駅東開発株式会社を通じて、教育分野への貢献にも取り組んでいます。当社のコーポレートメッセージである「水をつなぐ」一環として、本プロジェクトが掲げる“まちづくり・ひとづくり”の考えに賛同し、伴走しています。今後も、共創拠点での取り組みへの協力や水まわり製品の提供などを通じて、地域社会とともに持続的な価値創出を進めてまいります。

## 自然エネルギーを有効活用

2050年のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロの実現に向け、積極的に取り組んでいます。



岐阜新・第1工場 定格出力：437.5kWパネル容量：550 Wパネル数量：894 枚



岐阜新・第2工場

岐阜工場では、太陽光発電を活用した高効率インフラ設備の導入によりCO<sub>2</sub>排出量の削減を進めるとともに、カーボンニュートラルの実現を目指し、「地球や環境にやさしいモノづくり」の実現に向け、事業活動を推進しています。

## 「水まわりアイデア創出」ワークショップを産学連携で開催しました

早稲田大学、多摩美術大学の学生と当社社員が参加し、公園の新たな魅力創出を目的とした「水まわりアイデア創出」ワークショップを岐阜工場にて開催しました。



公園は地域住民にとって、「憩いの場」という大切な役割を担っています。近年では、自治体による遊具や休憩設備の整備、安全性の向上、緑化の推進などにより、公園は公共施設として年々充実しています。一方で、水まわり設備については、依然として昔ながらの仕様に留まっているのが現状です。

本ワークショップでは、子どもから大人まで多くの方が利用する公園において、水まわり機能を見直し、より魅力的で快適な空間へと進化させることで、これまで見落とされていた公園の新たな役割や価値を創出するためのワークショップです。

### 開催概要

日時：2026年3月11日～13日

会場：SANEI 岐阜工場

主催：早稲田大学総合研究機構「グローバル科学知融合研究所」

+SANEI株式会社

## セレッソ大阪ヤンマーレディースとブロンズパートナー契約を締結しました

2026年5月1日からセレッソ大阪ヤンマーレディースのブロンズパートナーとして契約を締結いたしました。

**■水栓メーカーとしてスポーツ文化を支援**

当社は水栓メーカーとして、1954年の創業以来「人類ある限り水は必要である」という理念のもと、独自の技術や自由な発想で人々の暮らしに快適な水まわりを提供してきました。これからも十人十色の生活に寄り添い、より豊かな社会を目指すため、水と人をつなぐ企業としてパートナーの皆様とともにチームを応援してまいります。

**■サステナビリティ活動への取り組み**

水と人をつなぐ企業として、地球のこれからについて考え行動しています。「女史ワーキンググループ」による女性活躍推進や、働くよろこびとお客様や地域とのつながりを通じて、パートナーシップを強化し、企業価値の向上と社会貢献に努めてまいります。

事業概要

企業情報



## 「点」としての始まり

1954 - 1980

水は人が生きていく上で欠かすことのできないものであり、現代の日常は水道なしでは成り立ちません。水栓は生活との「接点」、「要」であるとの考えのもと、三栄水栓製作所（現SANEI）は草創期から積極的な商品開発に取り組んできました。

## 「点」から「線」へ

1980 - 2018

1980年代には水栓のみならず、建物内の給水・排水の環境をトータルにプロデュースできる体制を確立。表からは見えなくても、それぞれが適材適所で使われ、かけがえのない流れを暮らしの中で支えてきました。

## 「線」から「面」へ

2018 -

2000年代頃から提案の領域は「面」へと広がり、デザイン水栓や、空間・ライフスタイルへの提案が高い評価を獲得。また、持続可能な社会の実現に向けて積極的に責任を果たすべく取り組みを進めています。

## SANEI CHRONICLE



1954

若き3名での創業当時20代の西岡明、吉川弘二、橋本健一の3名により創業。「三栄」の社名の由来となりました。



1967

日本初のシャワー付湯水混合水栓。国内の各世帯に内風呂が普及していく中で時代に先駆けたヒット商品となりました。



1980

水栓から配管までトータルに提供。幅広い商品展開と全国規模の販売ネットワークで、水まわり用品の総合メーカーへと発展しました。



2018

toccatà が JIDA デザインミュージアムセレクションの選定商品に認定



2018

SANEI 株式会社へ社名変更。水栓にとどまらない広がりを持たせた社名は、海外での名称との統一を図ったものでもあります。

HISTORY since 1954

次なる景色への飛翔 物語は続いていく

# SANEI CHRONICLE



2020

東京証券取引所市場第2部に上場  
2020年12月、東証2部(現スタンダード市場)に上場いたしました。



2024

「sroe」が「reddot」の「best of the best」と「iF」デザインアワードを受賞。



reddot winner 2024  
best of the best



2024

新・第1工場を竣工  
岐阜に新・第1工場を建設。同時に社員食堂を新設しました。



2025

「Grazioso」が「reddot」の「best of the best」と「iF」デザインアワードを受賞。

「grooglo」も「iF」デザインアワードを受賞しました。



reddot winner 2025  
best of the best



2025

新・第2工場を竣工  
さらなる生産性向上のため、岐阜に新・第2工場を建設。2026年稼働開始予定。

SANEI

VERSE  
LUXURY

grooglo

Grazioso

sanei  
DESIGNER COLLABORATION

soroe cye

YORI SUTTO SUTTO

Kiwitap TOH

EDDIES MONOTON

morfa ROFFINÉ

SANEI  
STANDARD

IENI ordina+

toccata AQUVOI+

いちりん column

Etc.

W A I L E A  
KITCHEN & BASIN

FIUSSO  
BATHROOM

# Grazioso



grooglo



# sanei DESIGN COLLECTION



<https://www.sanei.ltd/design/>

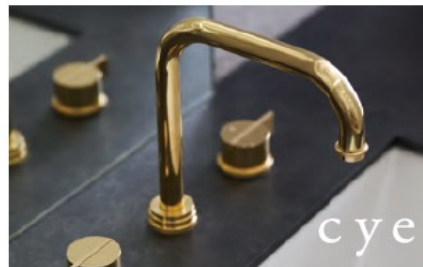
十人十色のライフスタイルに寄り添う

## DESIGNER COLLABORATION

## WAILEA DESIGN



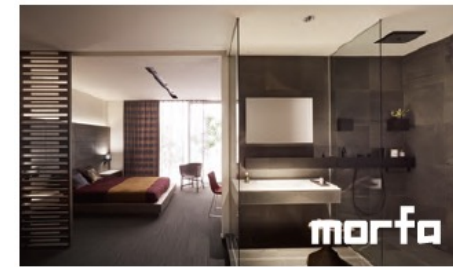
Designed by  
nendo



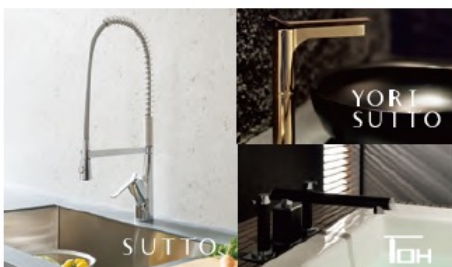
Designed by  
SUPPOSE DESIGN OFFICE



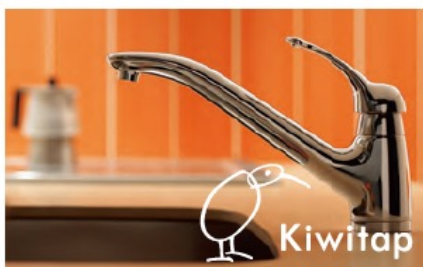
Designed by  
鈴木エドワード EDWARD SUZUKI  
1947-2019



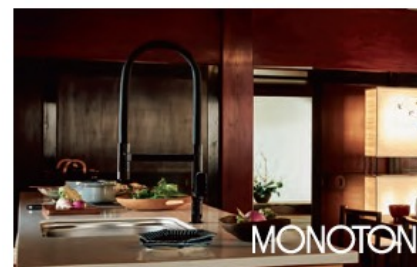
Designed by  
WAILEA DESIGN



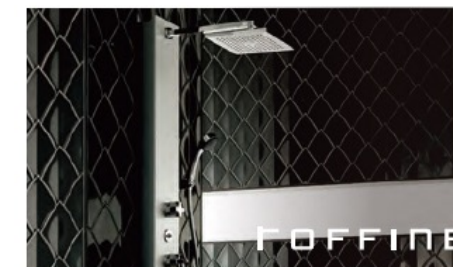
Designed by  
森田恭通 YASUMICHI MORITA



Designed by  
喜多俊之 TOSHIYUKI KITA



Designed by  
岩倉榮利 EIRI IWAKURA 1948-2019



Designed by  
WAILEA DESIGN

# 主な取扱製品

水栓



キッチン用

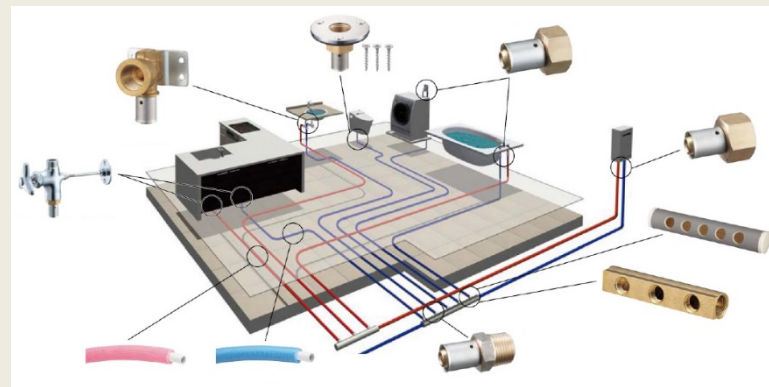


バスルーム用



洗面用

継手および配管部材



アルミ複合三層管“アルミックス”

プレパシュ+



予洗い水栓

シャワー用品



ファインバブル機能付

洗面ボウル



信楽焼“利楽”

雨水利用システム



トイレ用品



SHOWROOMS



WAILEA 御堂筋 WAILEA Midouji



WAILEA

御堂筋ショールーム



<https://www.wailea-club.com/>

FIUSSO

青山ショールーム



<https://www.flusso.design/>

## 社是

「人類ある限り水は必要である」との理念のもと  
人間の乾きを潤す水まわりを中心に  
生活の泉、憩の泉の想像を実現する事で  
社会に貢献し会社繁栄と全社員の幸福の源とする

SANEIは、1954年の創業以来、「人類ある限り水は必要である」という理念のもと、地球に生きる一員としての責任を自覚し、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を推進してまいりました。

独自の技術力と柔軟な感性を活かし、数々の画期的な製品を市場に提供するとともに、水まわりから暮らしの快適性を追求し、空間全体のトータルコーディネートにも取り組んでいます。

私たちは、常に変化する環境や多様化する社会ニーズを的確に捉えながら、今なお進化を続けています。

社名	S A N E I 株式会社
事業内容	給水栓・給排水金具・継手および配管部材の製造・販売
創業	1954年（昭和29年）9月
代表者	代表取締役社長 西岡 利明
本社	大阪市東成区玉津1丁目12番29号
資本金	4億3,200万円 ※2026年3月末時点
連結業績	売上高：290億4,200百万円 経常利益：18億300万円 ※2026年3月期
従業員	連結： 827名 単体： 630名 ※2026年3月末時点
グループ会社	株式会社アクアエンジニアリング 大連三栄水栓有限公司 株式会社水生活製作所

水をつなぐ  
S A N E I 株式会社



本資料に関するお問合せ  
当社ホームページ <https://www.sanei.ltd/>  
メール： [ir-sanei@sanei.ltd](mailto:ir-sanei@sanei.ltd)  
お電話：(06) 6972-5955  
担当：SANEI 株式会社 IR課

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Copyright © SANEI LTD. All Right Reserved